

クローズアップ
CLOSE UP

新道の駅華やかに開駅

道の駅「まえばし赤城」が、3月21日に田口町にオープンしました。オープン日には開駅式を実施したほか、芝生広場では細井小・勢多農林高の児童・生徒が演奏を披露。各店舗ではオープン記念のキャンペーンが実施され、オープンを待ちわびた多くの人でにぎわいました。



温故創新で歴史都市へ

2月26日、歴史まちづくりシンポジウムを開催。国交省で歴史まちづくり法策定に携わった協坂隆一さんの解説や群馬地域学研究所代表理事・手島仁さんの講演がありました。また、前橋商工会議所会頭・金子昌彦さんと市長を加えた4人で、来場者からの質問に答えました。



市議会正副議長が決定

市議会の第1回定例会を3月2日から29日まで開催。初日には正副議長を決める投票を実施し、議長に阿部忠幸議員（写真左）、副議長に窪田出議員（写真右）が選出されました。市議会ホームページでは、会議の様子を視聴できます。



いきいき
まえばし人

都内から移住し
無料学習塾をオープン
濱松 敏廣さん・46歳
和香子さん・44歳
上小出町二丁目

子どもたちに学べる環境を



平成26年に都内から本市に移住した濱松さん夫妻。昨年12月に原則無料の食事付き個別学習塾・ステップアップ塾前橋敷島教室を開設した。

「教育格差が生まれる主な要因は、所得格差や家庭不和などさまざまな理由が複雑に絡み合うことだと思います」

「教育格差をなくし、子どもたちの居場所を提供するために、原則無料で食事付き学習塾の取り組みをはじめた濱松さん夫妻。」

「塾は子どもたちのやる気を引き出すため、年齢の近い高校生が中心になりボランティアでサポート。民間の助成金や企業の協賛金などで運営しています」

「学習塾以外にも、勉強場所を提供するための自習室やオンライン個別学習塾も開設している。敷島教室は都内2カ所と北九州市に続き全国で4カ所目。この取り組みを移住した前橋市から全国に広げたいです」



channel 13
6次産業化
農政課
027-898-5841



旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回は6次産業化に取り組む北爪さん夫妻を紹介いたします。

鼻毛石町でもち米の栽培と餅の加工販売をしている北爪吉之さん・麻衣子さん夫妻。6次産業化を始めたのは吉之さんの両親でした。約30年前、農業のみで生計を立てようと思いつき、うるち米からもち米に栽培を切り替え、大福（あびん餅）に加工して販売を開始。その後、吉之さんと麻衣子さんが加わり、耕作放棄地を借りながら生産量を増やしてきました。

「今後はスイーツを開発したりカフェを併設したりしたいです。また、農業体験やしめ縄教室なども開催し、農業への関心や食育を広め、良い風習を残していきたいです」と麻衣子さん。思い描く未来に向かって、新たな加工設備も導入予定です。

市農政課では、北爪さんのように6次産業に取り組みむ生産者を支援しています。補助事業の要望調査も実施中。詳しくは問い合わせください。



北爪吉之さんと麻衣子さん